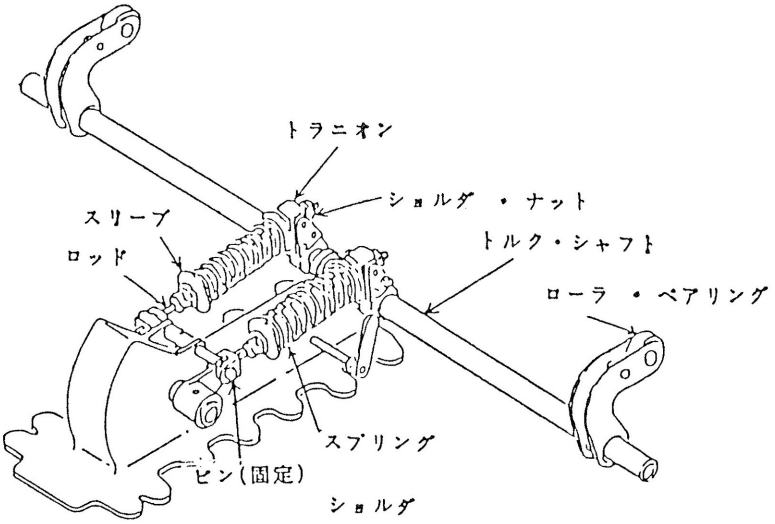
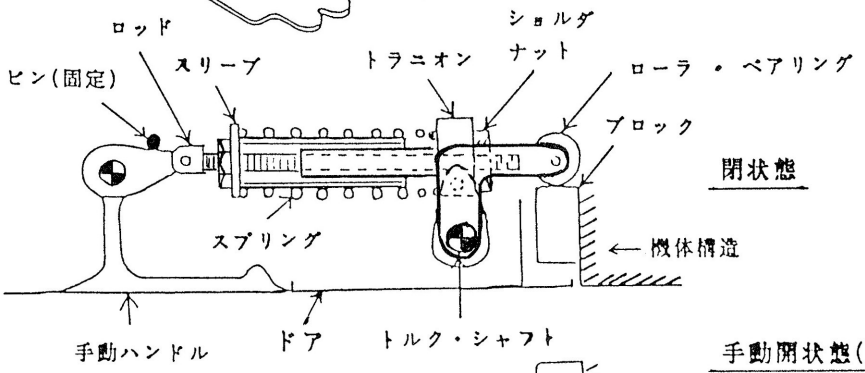
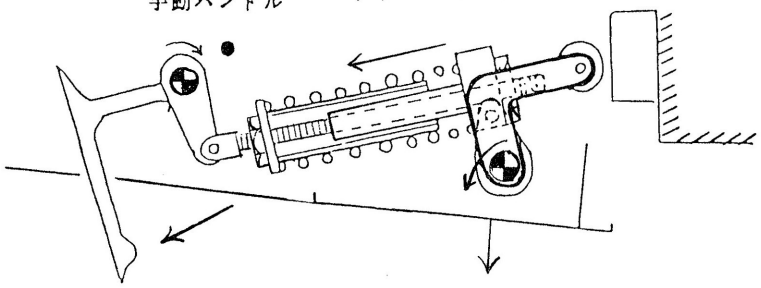
付図－33

プレッシャ・リリーフ・ドアのラッチ機構



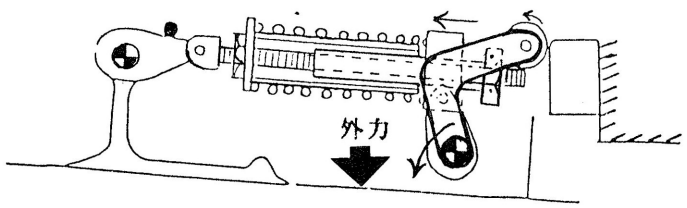


閉状態



手動開状態(地上)

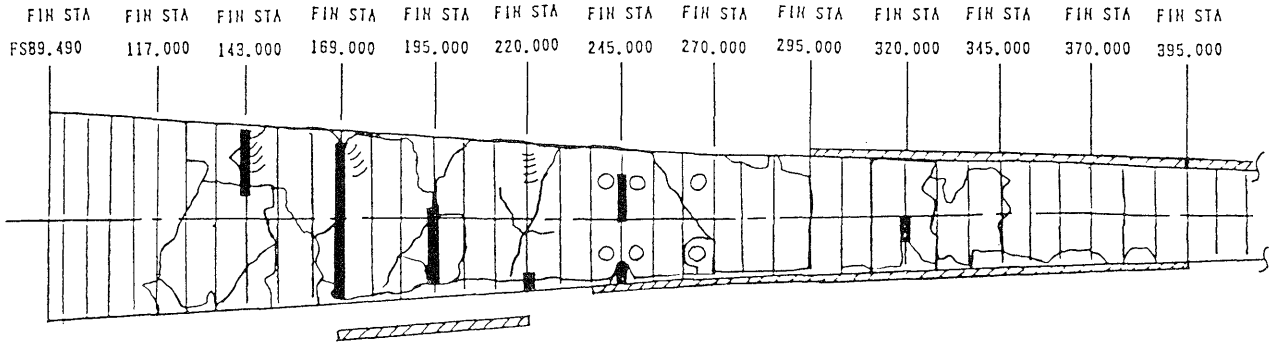
トラニオンと
シェルダ・ナットの
位置関係は変わらない。



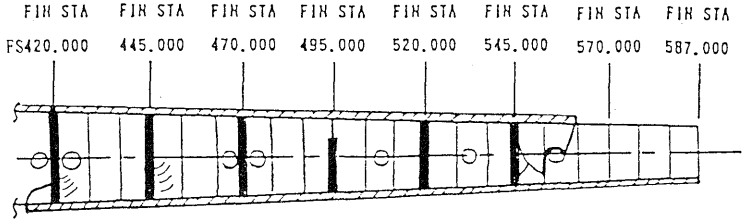
手動以外の外力で
開いた状態

トラニオンがシェルダ・
ナットの上を滑りながら
スプリングを縮めてドア
は開く。

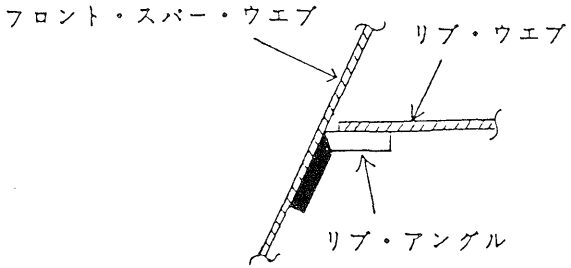
付図－34　垂直尾翼フロント・スパーの損壊状況



（後方より見る）



・ リブ・アングルのL断面コーナ部での破断例



・黒く塗りつぶした断面が残っている部分。

残存するリブ・アングル

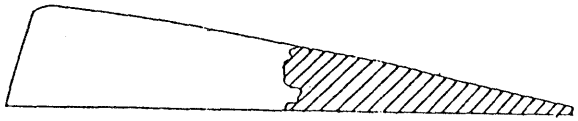
残存するスパー・コード

すり傷

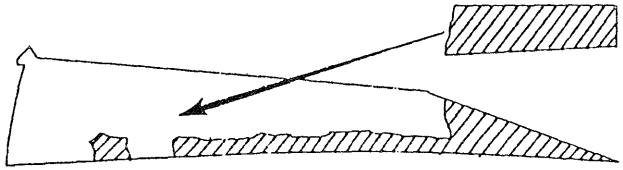
付図－35　ボディ・シール損壊図

（外部より見る）　　：回収部分

左上方

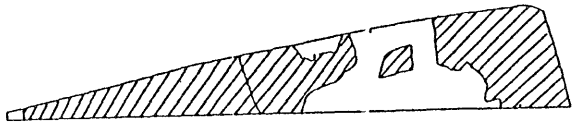


シール・ドア

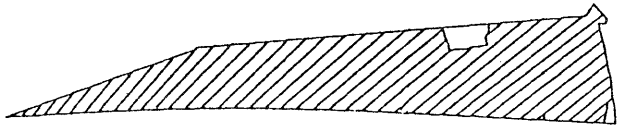


スライディング・ブレード・シール

右上方

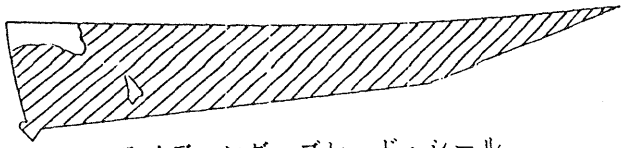


シール・ドア

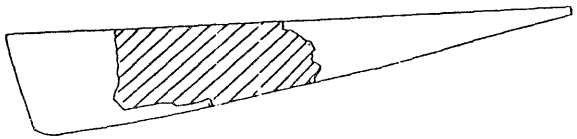


スライディング・ブレード・シール

左下方

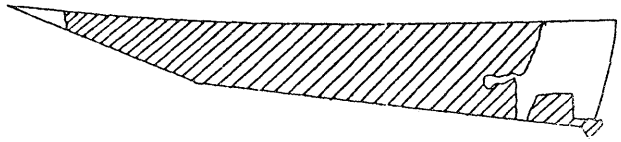


スライディング・ブレード・シール

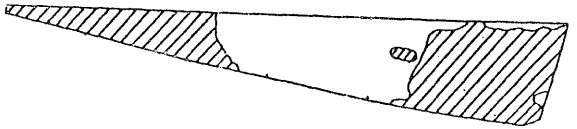


シール・ドア

右下方

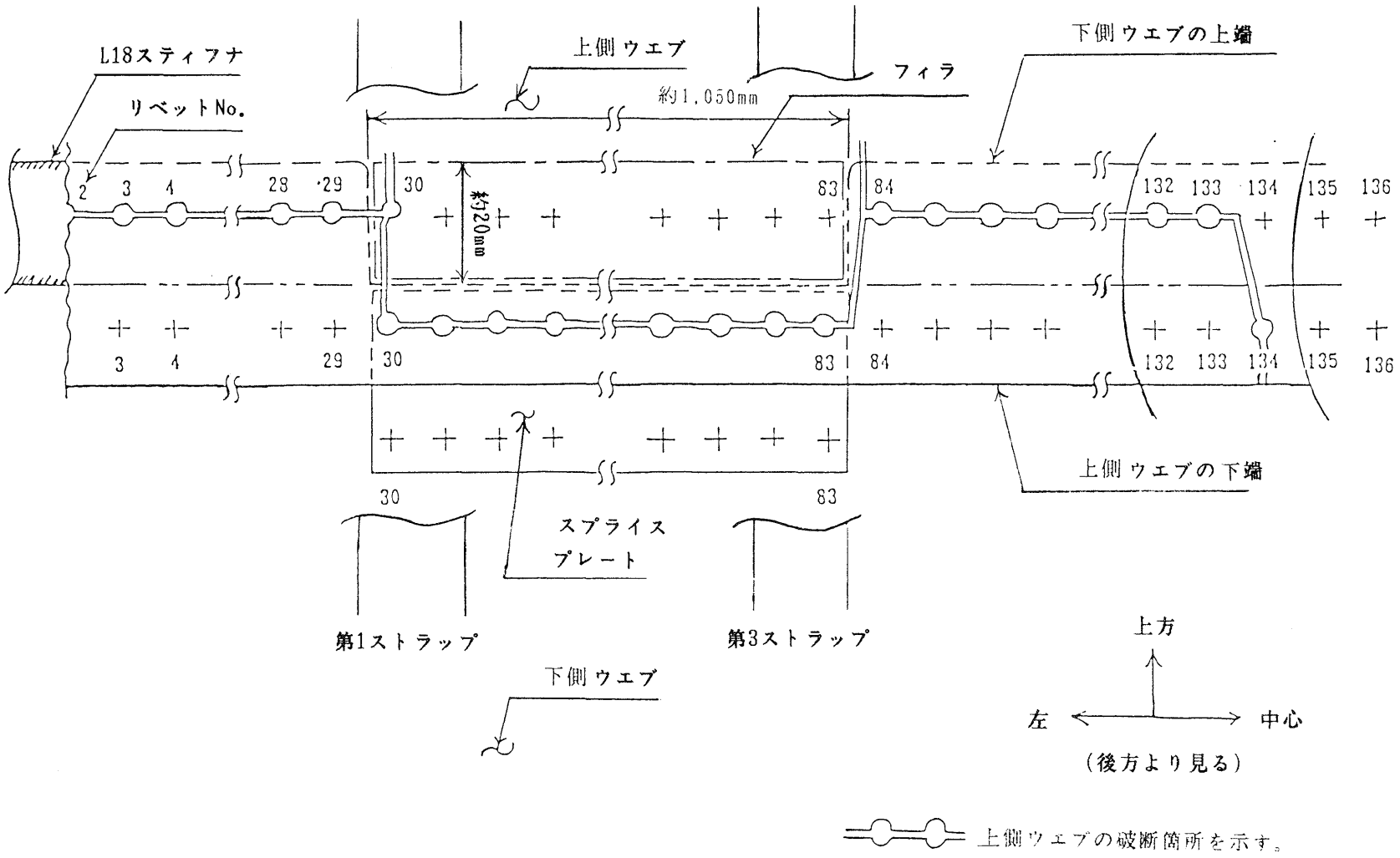


スライディング・ブレード・シール



シール・ドア

付図－36　後部圧力隔壁L18接続部（略図）



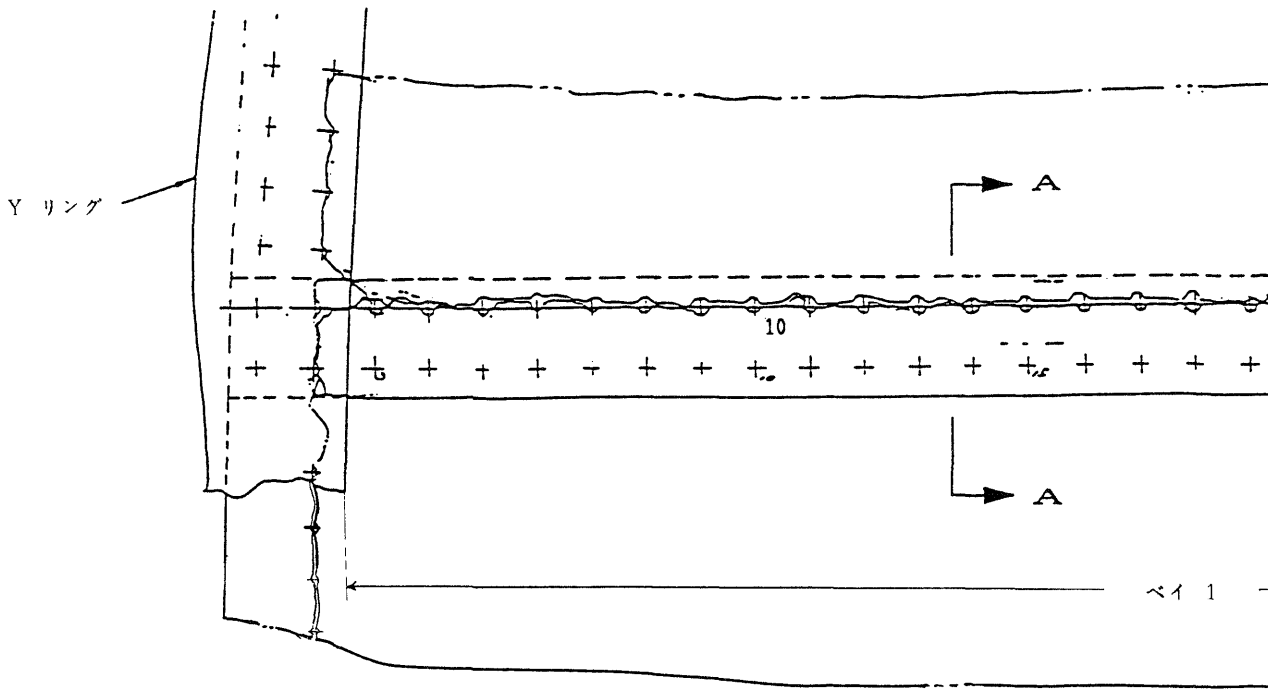
付図－３７　Ｌ１８スティフナに沿ったウエブの破断図

本図の右
に続く

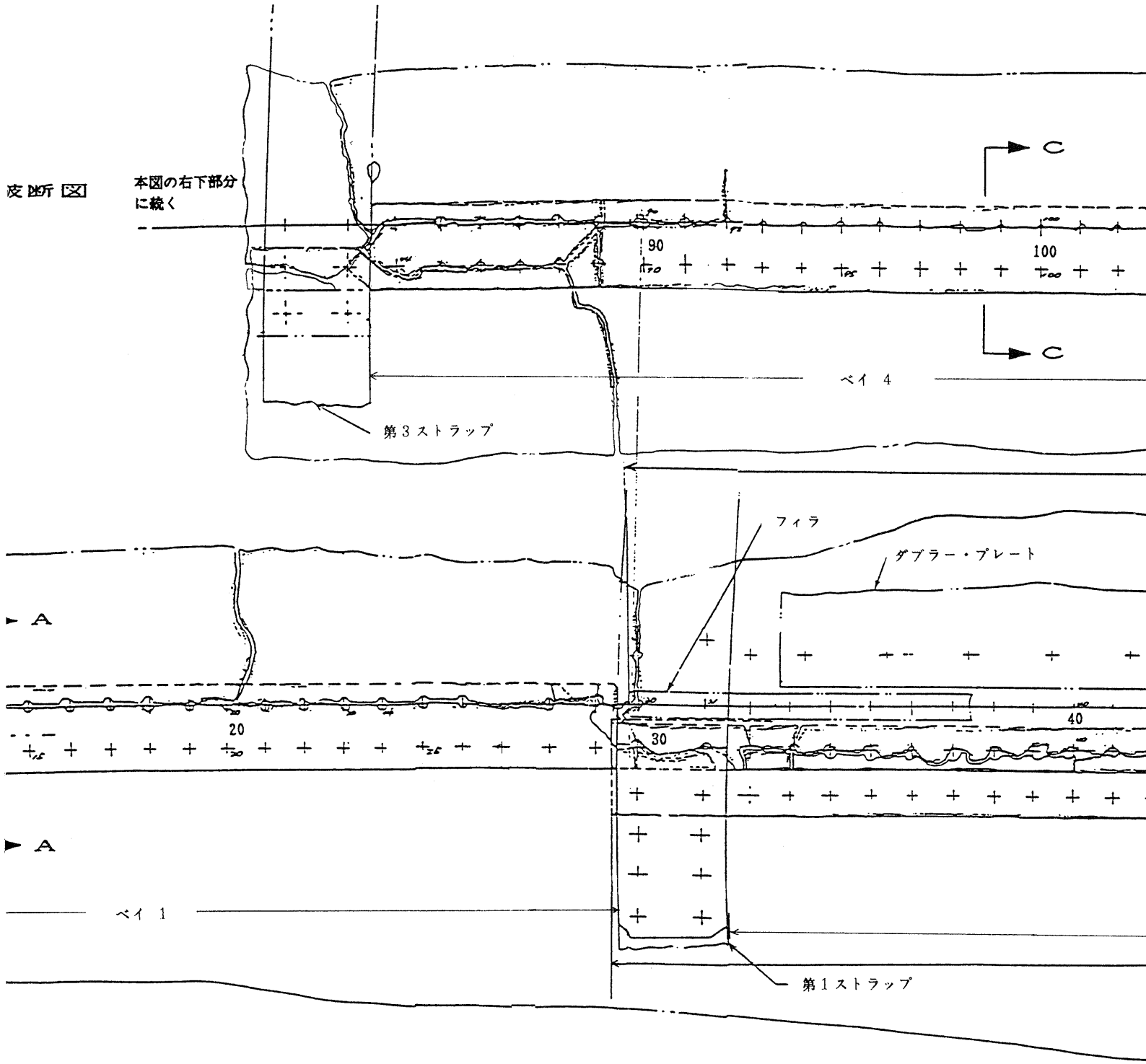
注記）　スティフナは、図示省略

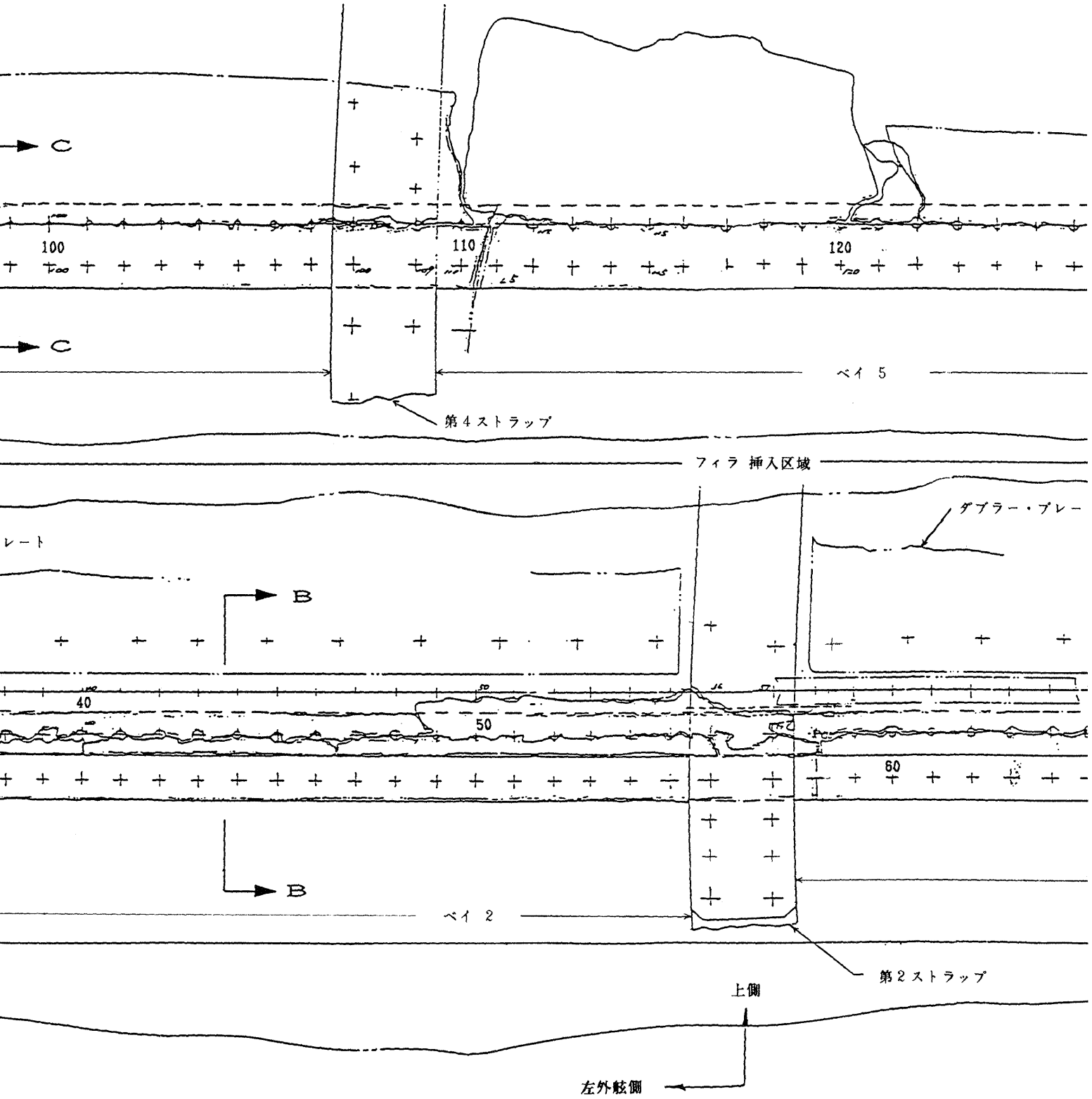
スティフナは、リベットNo.３０、及びNo.８３にて破断

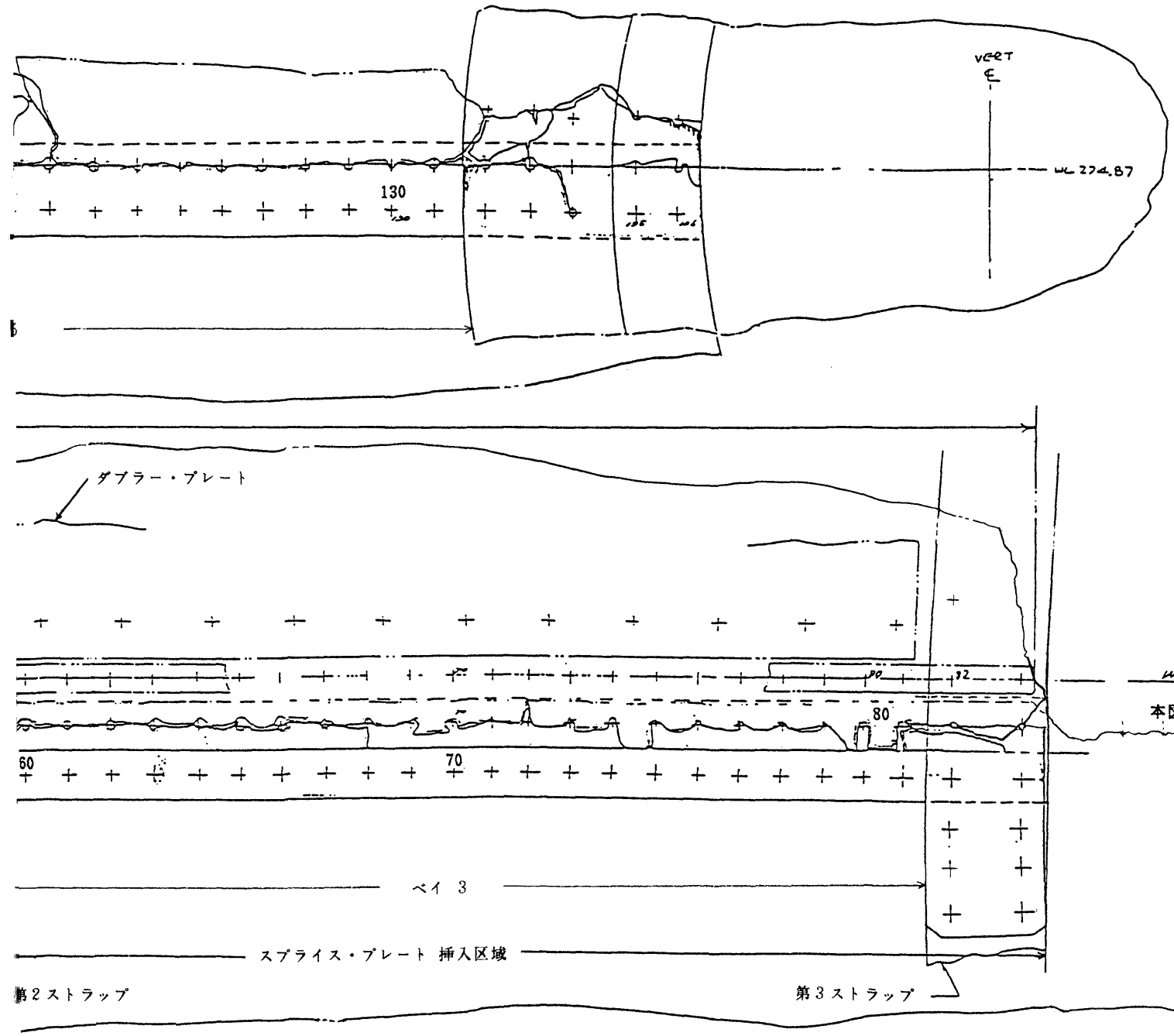
図は後部圧力隔壁を後方側より前方視したものである。



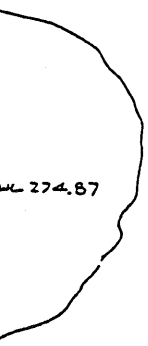
皮断面図


本図の右下部分
に続く
C
C
90
100
ベイ 4
第３ストラップ
フィラ
ダブラー・プレート
A
A
20
30
40
ベイ 1
第１ストラップ

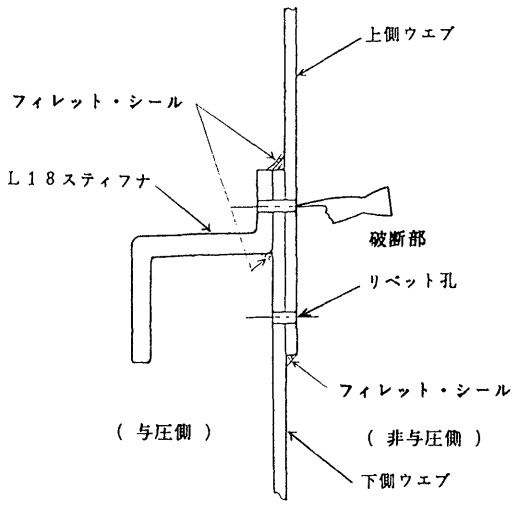

C
C
100
110
120
ベイ 5
第4ストラップ
フィラ 挿入区域
ダブラー・プレー
レート
B
B
40
50
60
ベイ 2
第2ストラップ
上側
左外舷側


VERT
WL 274.87
130
ダブラー・プレート
80
60
70
ベイ 3
スプライス・プレート 挿入区域
第2ストラップ
第3ストラップ

付図－３８　Ｌ１８スティフナに沿

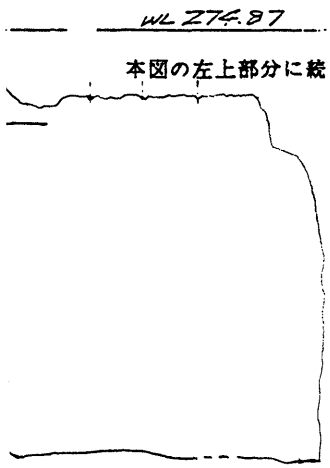


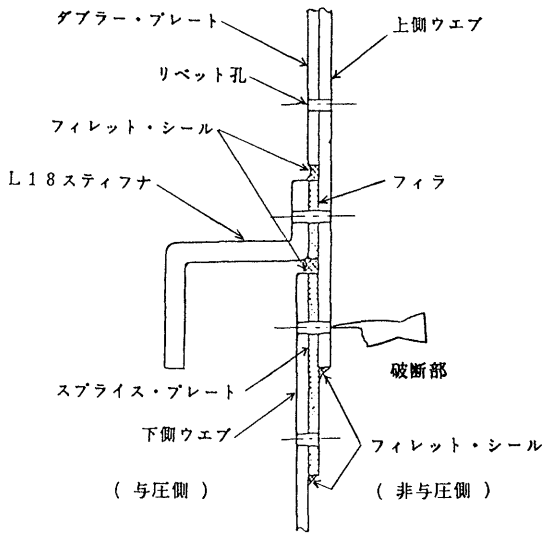
(a)　Ａ－Ａ、並びに Ｃ－Ｃ 断面構造



注）
それぞれの構造部材の
合わせ面には、フェイ
ング・サーフェイス・
シールが塗布されている。

(b)　Ｂ－Ｂ 断面構造





注）
それぞれの構造部材の
合わせ面には、フェイ
ング・サーフェイス・
シールが塗布されている。

付図－３８　Ｌ１８スティフナに沿ったウエブの破断図詳細

－Ｃ 断面構造

上側ウエブ

注）
それぞれの構造部材の
合わせ面には、フェイ
ング・サーフェイス・
シールが塗布されている。

]
破断部
リベット孔

ット・シール
非与圧側 ）
側ウエブ

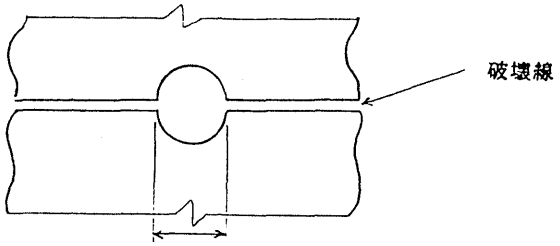
側ウエブ

注）
それぞれの構造部材の
ィラ　合わせ面には、フェイ
ング・サーフェイス・
シールが塗布されている。

]
断部

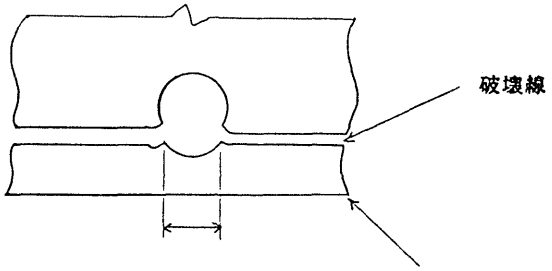
ット・シール
与圧側 ）

(c)　代表的な破壊の様相



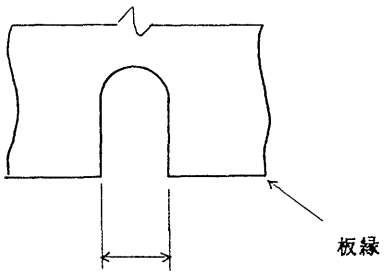
破面上の孔幅

(d)　板縁に近い破壊の様相



破面上の孔幅≦孔径

(e)　孔縁のせん断破壊の様相

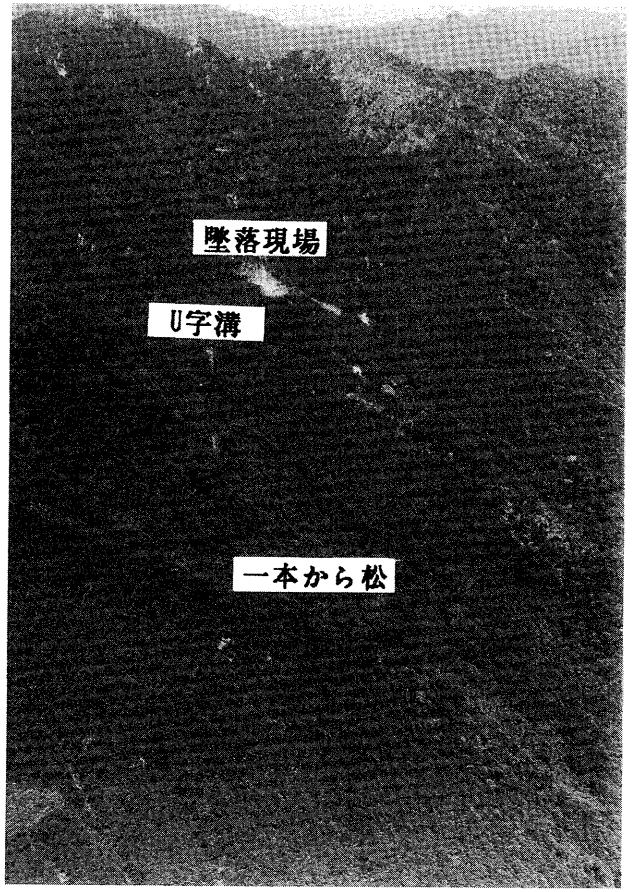


孔幅

写　　真

写真－ 1　墜落現場遠景(1)
昭和60年8月13日午前9時30分頃撮影

写真－ 2　墜落現場遠景(2)

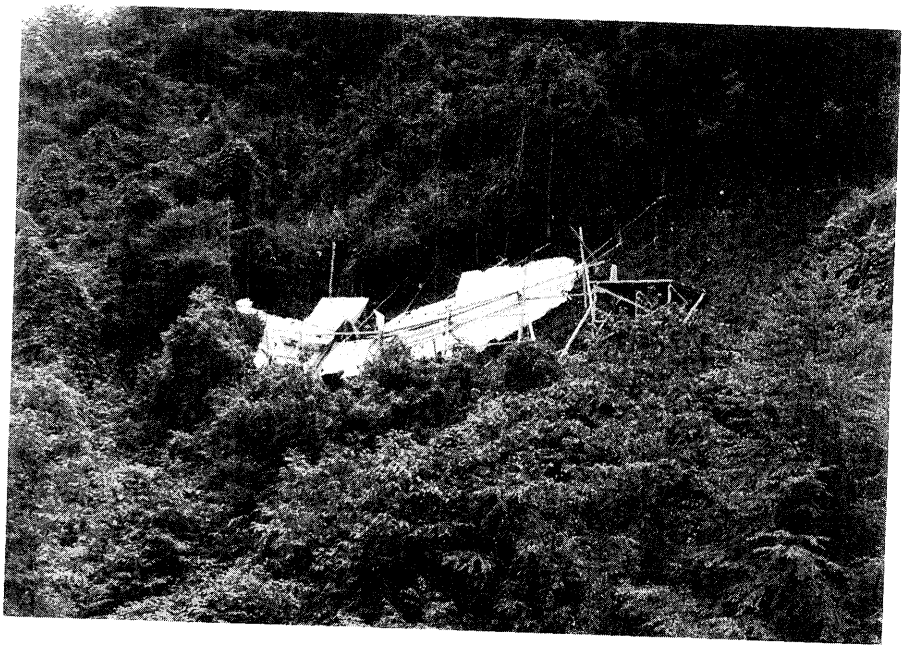


写真－３　U字溝
（墜落現場方向へ向かって）

写真－４　後部胴体の残骸(1)

写真－ 5　後部胴体の残骸(2)

写真－ 6　水平尾翼



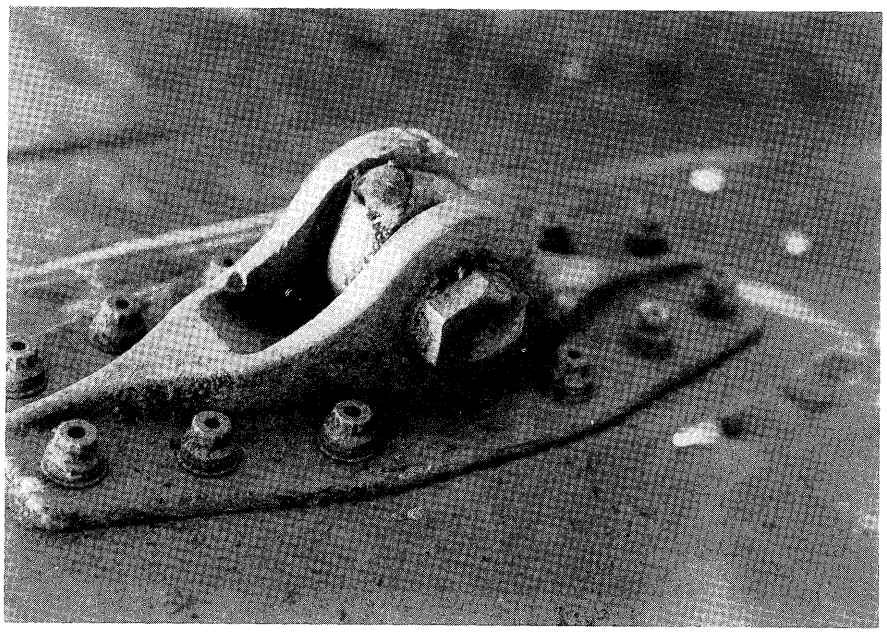
写真－ 7　No.1エンジン

写真－ 8　No.2エンジン

写真－ 9　No.3エンジン

写真－ 10　No.4エンジンの一部

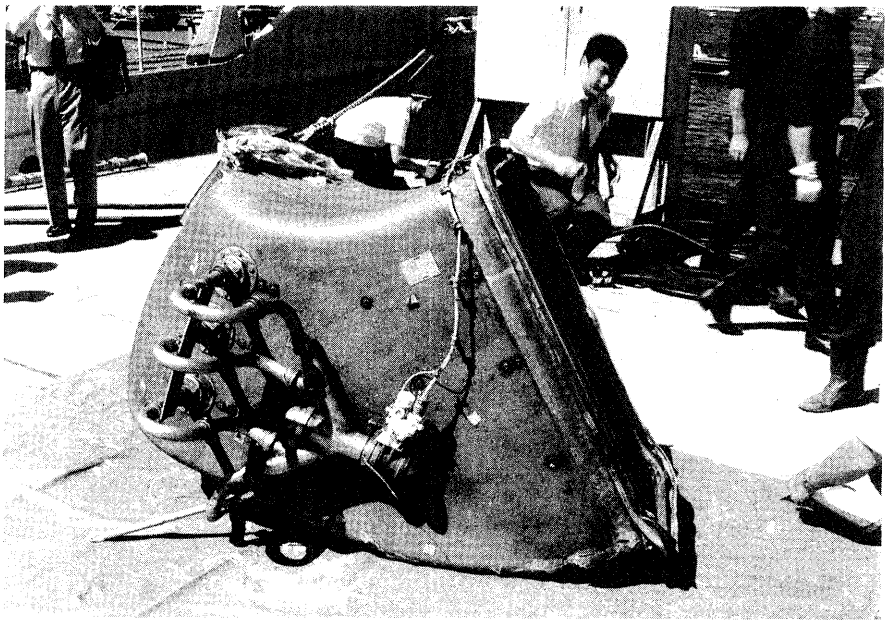
写真－ 11　タイロッド・リンク破断部



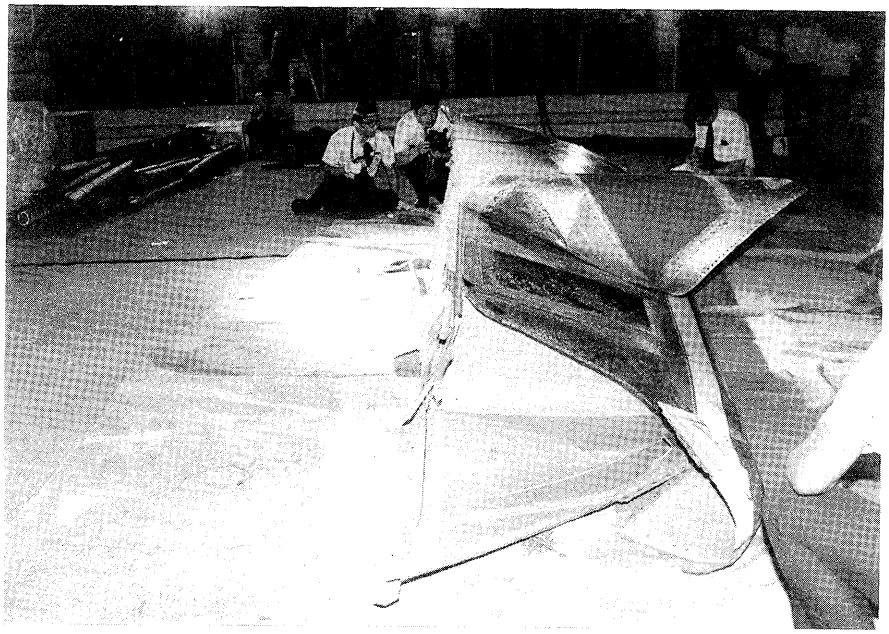
写真－ 12　回収された圧力隔壁(1)
後方(非与圧)側

写真－ 13　回収された圧力隔壁(2)
客室(与圧)側

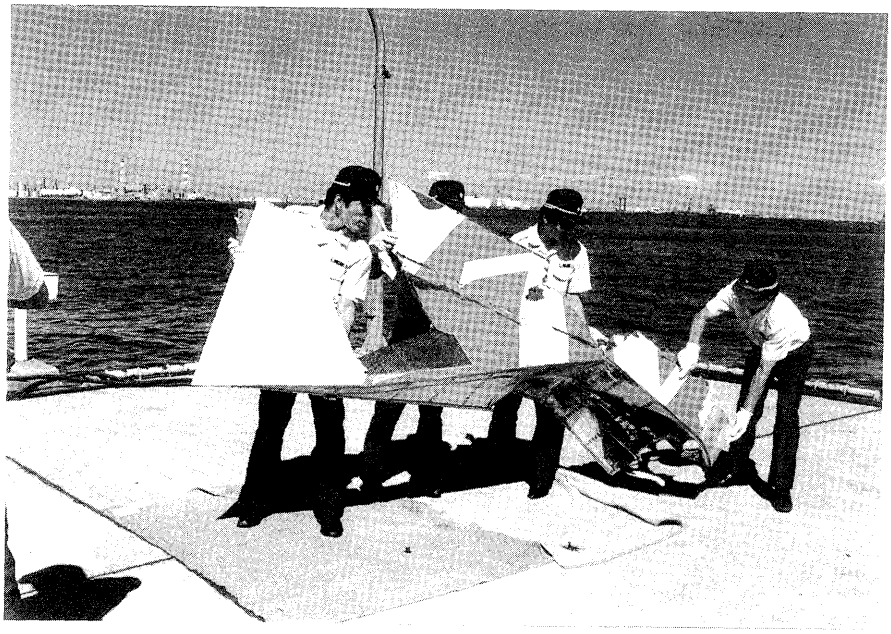
写真－ 14　海上から回収されたAPU空気取り入れダクト



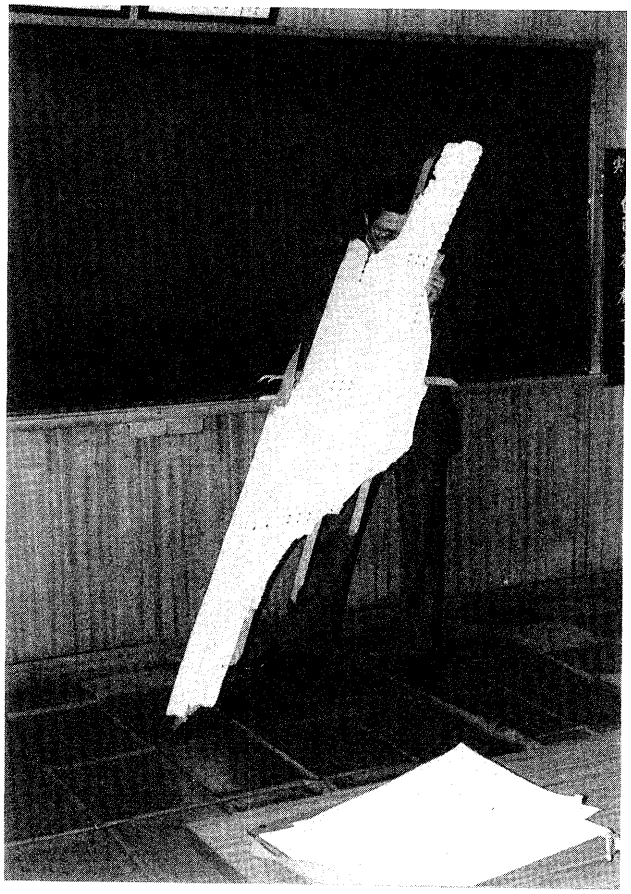
写真－ 15　海上から回収された垂直尾翼の一部(1)



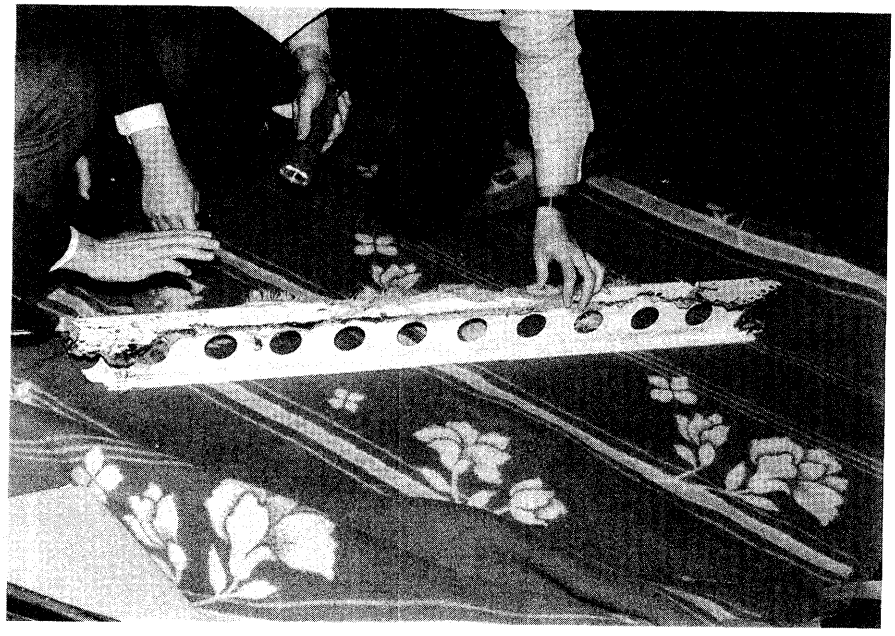
写真－ 16　海上から回収された垂直尾翼の一部(2)



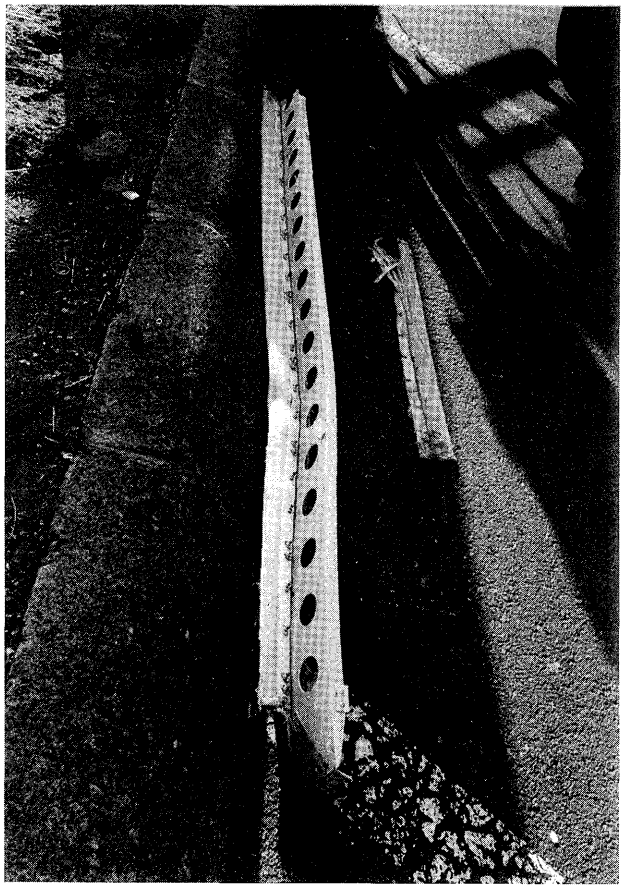
写真－ 17　飛行経路下から回収された残骸(1)
トルク・ボックス左後下方の一部



写真－ 18　飛行経路下から回収された残骸(2)
シール・リテーナの一部

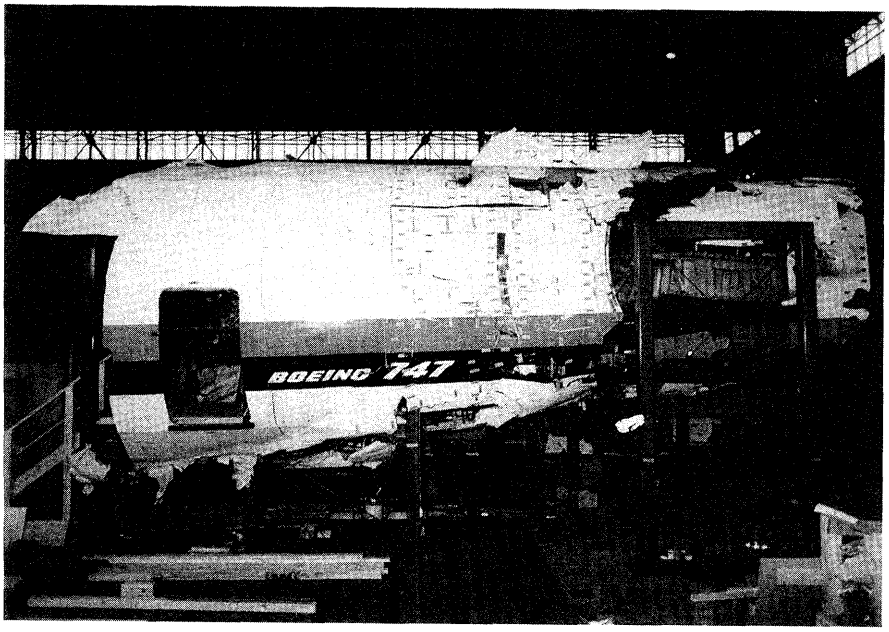


写真－ 19　飛行経路下から回収された残骸(3)
シール・リテーナの一部及びゴム・シール

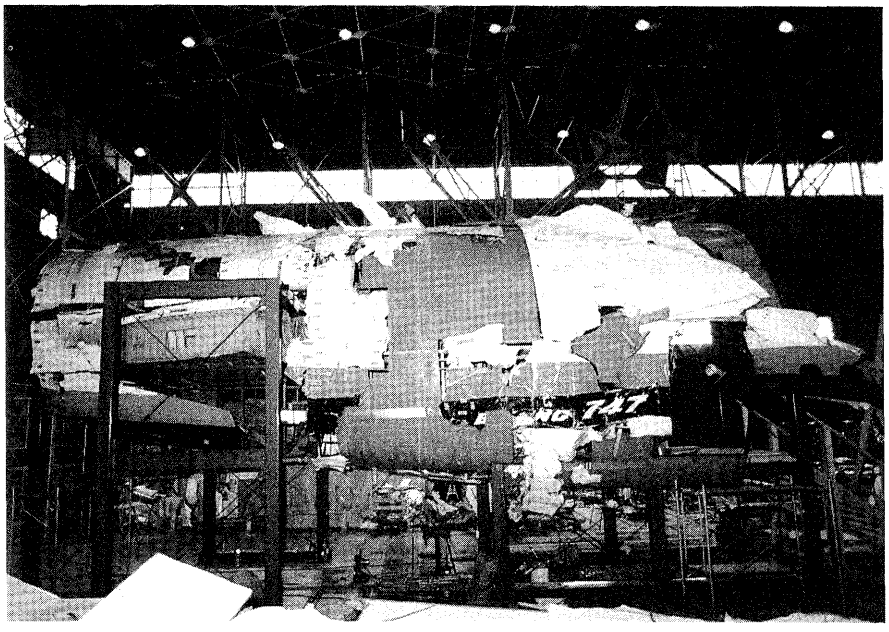


写真－ 20　飛行経路下から回収された残骸(4)
写真－17に接続されるストリンガの一部

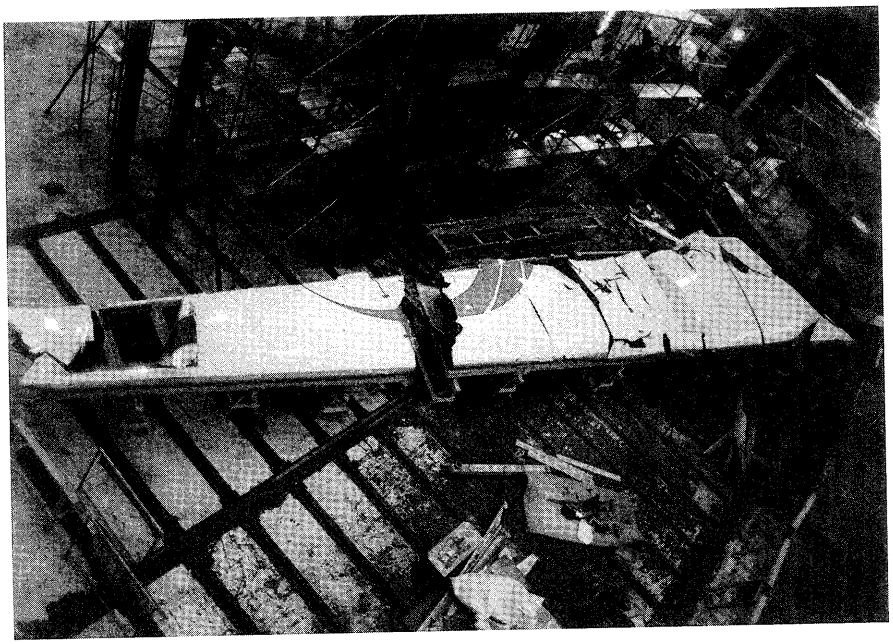
写真－ 21　後部胴体復元(左側)



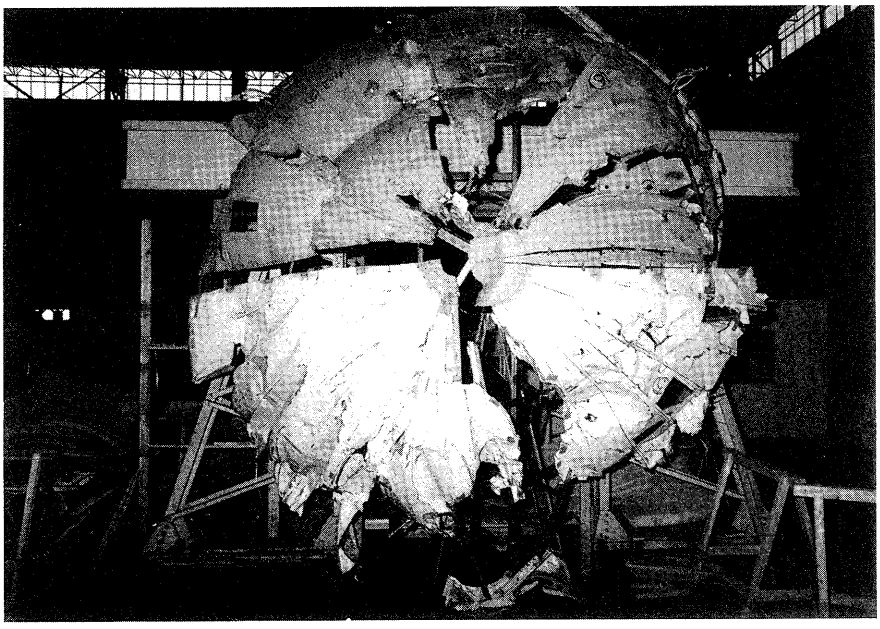
写真－ 22　後部胴体復元(右側)



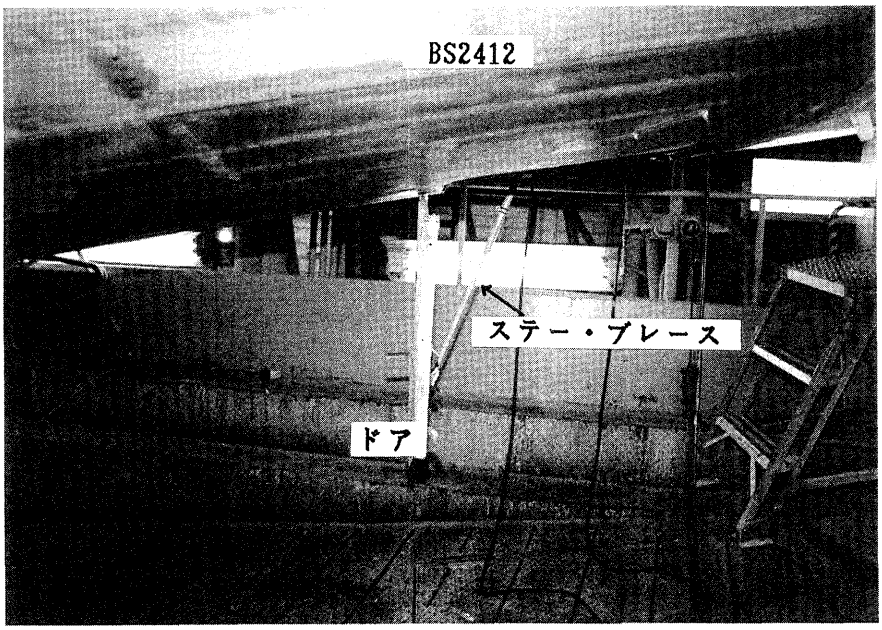
写真－ 23　垂直尾翼展開



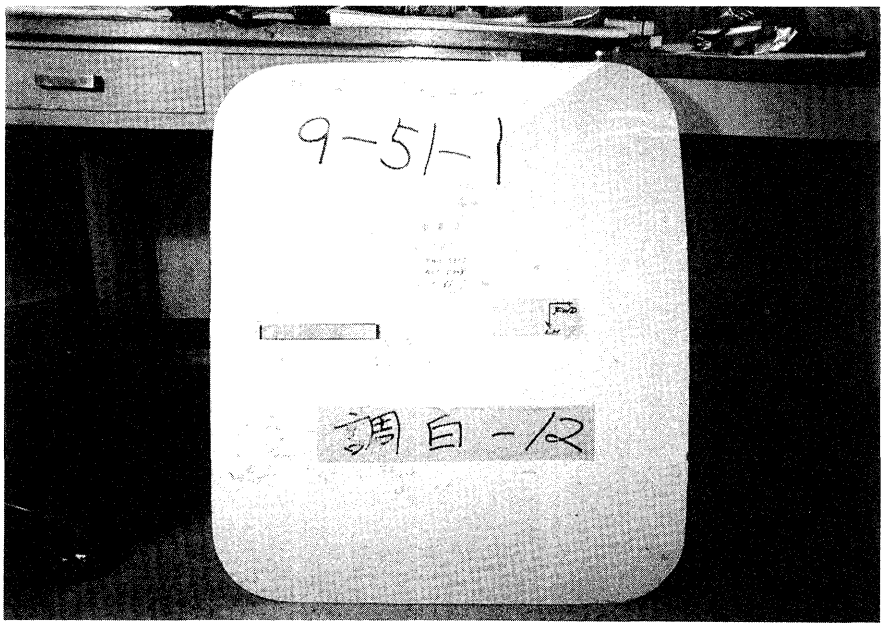
写真－ 24　後部圧力隔壁復元(後方より見る)



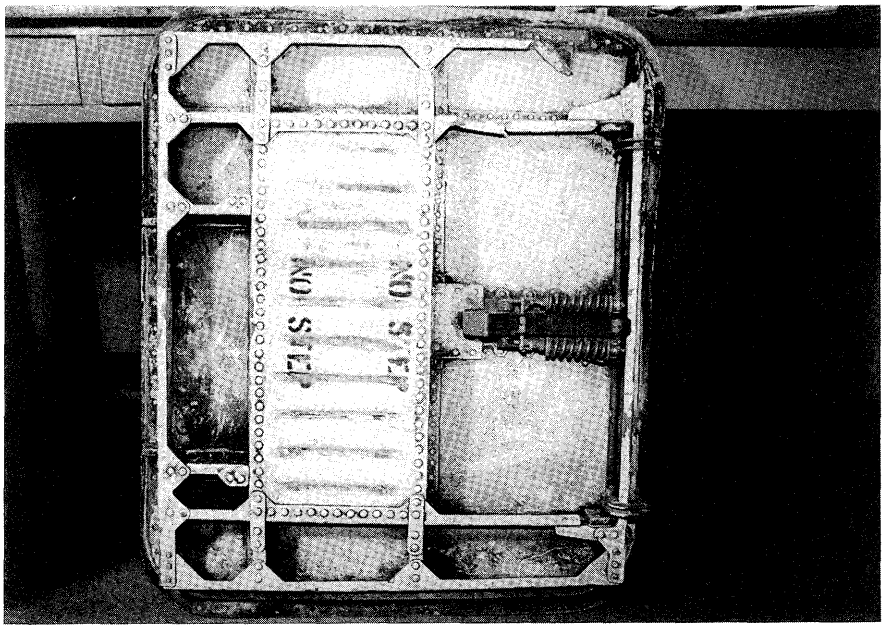
写真－ 25　プレッシャ・リリーフ・ドア(地上で開状態)



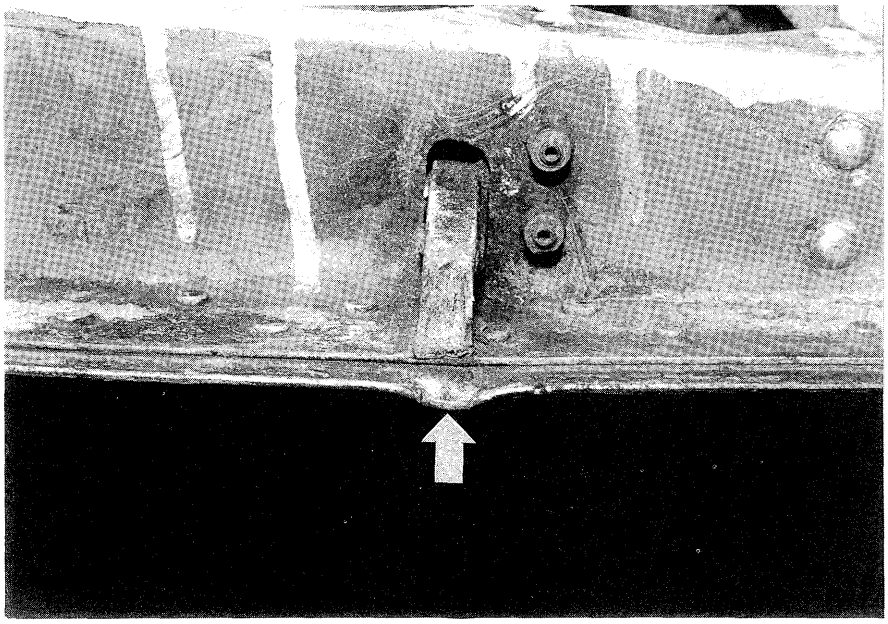
写真－ 26　プレッシャ・リリーフ・ドア(外側)



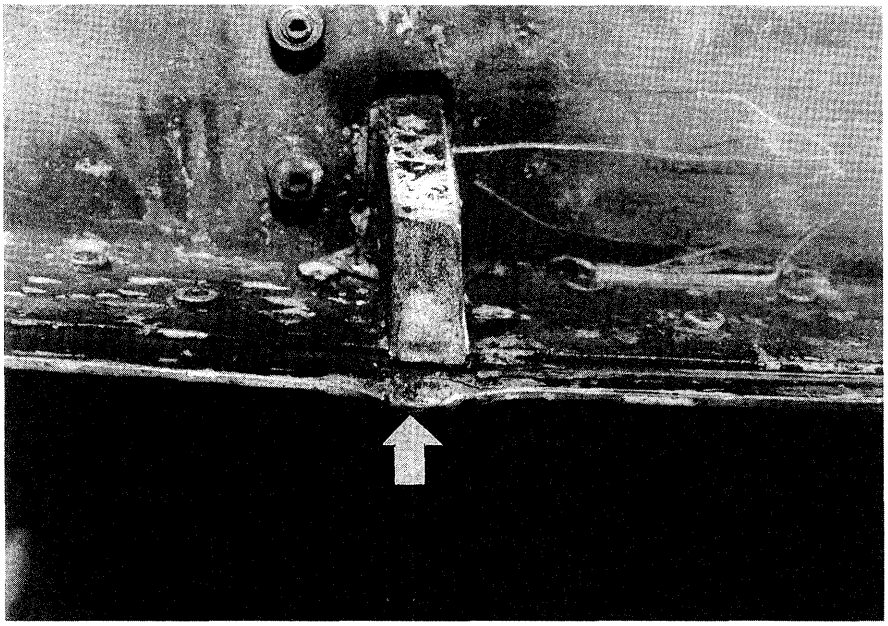
写真－ 27　プレッシャ・リリーフ・ドア(内側)

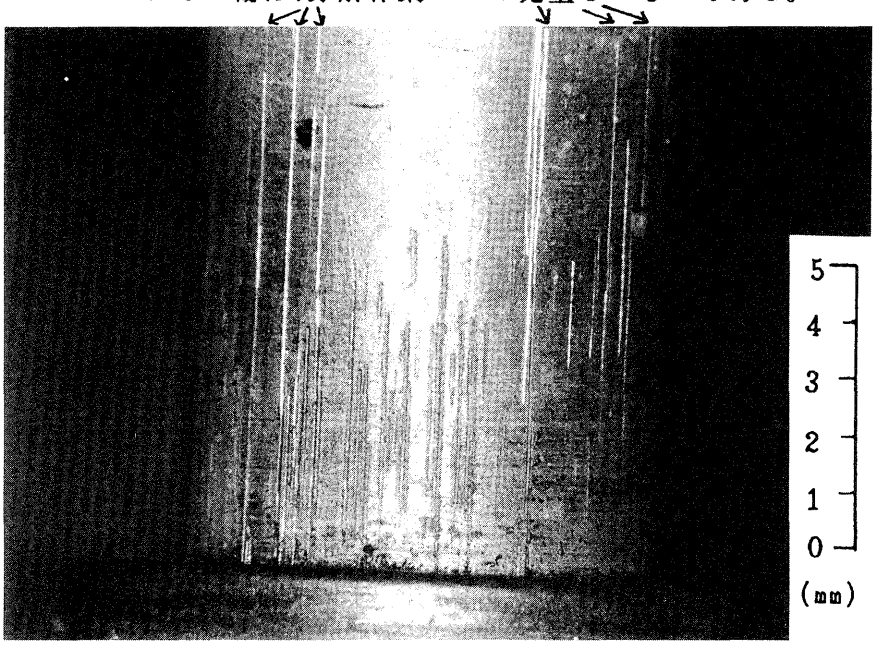


写真－ 28　プレッシャ・リリーフ・ドア
左側ドア・ヒンジ部外板の変形



写真－ 29　プレッシャ・リリーフ・ドア
右側ドア・ヒンジ部外板の変形



写真－ 30　プレッシャ・リリーフ・ドア・ラッチ機構
ショルダ・ナットのすり傷(左側)

これらの傷は、分解作業のため発生したものである。